

# SIP自動走行システム ヒューマンファクター研究開発 2016年度 成果発表シンポジウム

～安全で快適な交通社会の実現に向けて～

## 2017.7.28 金 9:30～17:00

**場所** 学校法人 慶應義塾 慶應義塾大学 三田キャンパス 北館ホール 〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

**定員** 200名〈定員になり次第締切〉 **参加費** 無料〈事前登録制〉

**主催** 国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
「自動走行システムの実現に向けたHMI等のヒューマンファクターに関する調査検討」コンソーシアム  
(国立研究開発法人 産業技術総合研究所／国立大学法人 筑波大学／学校法人 慶應義塾 慶應義塾大学／  
株式会社デンソー／東京都ビジネスサービス株式会社)

**共催** 内閣府SIP自動走行システム推進委員会 **後援** 日本人間工学会／自動車技術会／日本機械学会

### アクセス



**JR** 山手線／京浜東北線「田町駅」西口 徒歩8分

**都営地下鉄** 浅草線／三田線「三田駅」A3またはA10出口 徒歩7分  
大江戸線「赤羽橋駅」赤羽橋口 徒歩8分

### お申込み

WEBサイトからのお申込みとなります。

[seminar.tokyotobs-entry.jp/symposium/](http://seminar.tokyotobs-entry.jp/symposium/)

**事前登録制** 参加ご希望の方は  
ホームページからお申込みください。

### 登録締切

**2017年 7月26日(水)**

※定員 200名になり次第、締め切らせていただきます。

### お問い合わせ

**シンポジウム事務局**

〒135-8073 東京都江東区青海2-4-32 タイム24ビル 5F  
東京都ビジネスサービス株式会社 クロスマーケティング部  
Tel.03-6426-0482

## プログラム

※当日発表者が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

### オーラルセッション

(敬称略)

司会者 国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
自動車ヒューマンファクター研究センター 首席研究員 赤松 幹之

#### 9:30～9:40 開会挨拶



内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付 参事官  
(社会システム基盤)付 企画官  
伊沢 好広



国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
理事・情報人間工学領域 領域長  
関口 智嗣

#### 9:40～10:00 自動運転の研究開発動向



トヨタ自動車株式会社  
先進技術開発カンパニー 先進技術統括部 常務理事  
SIP自動走行システム・プログラムディレクター  
葛巻 清吾

#### 10:00～10:30 SIP自動走行システム ヒューマンファクター研究開発の背景と狙い



国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
自動車ヒューマンファクター研究センター 研究センター長  
SIP自動走行システム ヒューマンファクター研究開発プロジェクトリーダー  
北崎 智之

#### 10:30～11:10 課題A「自動走行システムの機能・状態・動作の理解に関わる課題」の成果概要



国立大学法人 筑波大学  
システム情報系 教授  
研究開発プロジェクトサブリーダー  
伊藤 誠

#### 11:10～11:50 課題B「ドライバーの状態と自動走行システムの動作に関わる課題」の成果概要



国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
自動車ヒューマンファクター研究センター チーム長  
研究開発プロジェクトサブリーダー  
佐藤 稔久



株式会社デンソー  
ADAS推進部 情報HMI開発室 担当部長  
研究開発プロジェクトサブリーダー  
田中 裕章

#### 11:50～13:10 ランチ/ポスター自由閲覧

#### 13:10～13:50 課題C「自動走行システムと他の交通参加者とのインターフェースに関わる課題」の成果概要



学校法人 慶應義塾 慶應義塾大学  
理工学部 教授  
研究開発プロジェクトサブリーダー  
大門 樹

#### 13:50～14:10 自動運転HMI標準化の取組み



一般財団法人 日本自動車研究所 所長補佐  
ISO TC22/SC39/WG8 自動運転 Terms&Definitions TFコンビナー  
小野 古志郎

#### 14:10～14:30 自動運転実用化に向けた、日本自動車工業会の取り組み



株式会社本田技術研究所 四輪R&Dセンター 上席研究員(特任)  
日本自動車工業会 自動運転検討会 主査  
横山 利夫

#### 14:30～14:40 休憩

### ポスターセッション

(敬称略)

司会者

国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
自動車ヒューマンファクター研究センター  
チーム長 武田 裕司

#### 14:40～15:10 ポスターセッション (ショートプレゼン 3分×10件)

##### 課題 A「運転引継ぎについて 持つべき知識の内容」

筑波大学大学院 朴木 俊也

##### 「運転介入が必要な状況に関する 知識を汎化しやすい表現」

筑波大学大学院 豊田 健志

##### 「運転介入の必要性に関する表現主体： システム視点かドライバ視点か」

筑波大学 システム情報系 研究員 周 慧萍

##### 自動走行の知識に関する調査 (ウェブ調査)

東京都ビジネスサービス株式会社  
保坂 圭太

##### 課題 B「自動走行中のドライバー状態 評価指標の抽出：瞬目・ 眼球運動・視認行動の検討」

産業技術総合研究所 阿部 高志

##### 「自動走行中のサブタスクがドライバー の心拍・血圧反応に及ぼす影響」

産業技術総合研究所 崔 多美

##### 「わき見・意識のわき見が引き起こす テイクオーバーパフォーマンスの低下」

株式会社デンソー 千葉 元気

##### 課題 C「車両同乗観測に基づく ドライバー・歩行者間コミュニケーションの 手続きに関する研究」

慶應義塾大学大学院 横田 直樹

##### 「公道観測から見えるドライバー間 コミュニケーションに関する研究」

慶應義塾大学大学院 中村 大希

##### コミュニケーションの 地域性に関する調査 (ウェブ調査)

東京都ビジネスサービス株式会社  
保坂 圭太

#### 15:10～17:00 ポスター発表

# SIP 自動走行システムヒューマンファクター研究開発 2016 年度成果発表シンポジウム 開催概況

## 1 参加者

|         |                              |
|---------|------------------------------|
| 一般      | 166 名（産 131 名：学 14 名：官 21 名） |
| 取材（3 社） | 4 名                          |
| 関係者     | 47 名                         |
| 合計      | 217 名                        |

## 2 参加者アンケート結果

|                            | 課題 A  | 課題 B  |
|----------------------------|-------|-------|
| 現在取り組んでいる課題に関する知見が得られた     | 48.0% | 55.3% |
| 現在取り組んでいないが今後の課題となる知見が得られた | 29.3% | 24.4% |
| 今後の開発の方向性に関する知見が得られた       | 37.4% | 39.0% |
| 商品企画に関する知見が得られた            | 16.3% | 15.4% |
| 制度設計に関わる知見が得られた            | 8.1%  | 8.9%  |
| あまり有意義な知見が得られなかった          | 0.8%  | 0.8%  |
| その他                        | 4.8%  | 4.0%  |

本研究のさらに詳しい情報を知りたい： 91.1%

このようなシンポジウムを今後も開催してほしい 95.9%

定員を増やして欲しい

実車テスト、公道テストの実施とその結果の報告を期待しています

とても参考になりました。今後も定期的な開催をお願いします



会場の様子



ポスター発表の様子